

原 著

# がん化学療法に対する薬剤師の取り組みに対する再評価 —看護師へのアンケートを介して—

糸魚川総合病院、薬剤部；薬剤師

やま もと つよし  
山本 剛

目的・方法：当院薬剤師のがん化学療法への取り組みを、看護師へのアンケートを通して、薬剤師に対する評価を再確認する。

成績：薬剤師の取り組みに対して看護師がよかったと思う点、不十分と思う点がわかった。

結語：薬剤師のがん化学療法の活動に対する看護師の評価を知ることができ、今後の活動に生かすことができた。

A. 危険性が少なくなった B. 時間に余裕ができた C. 処方監査 D. 情報提供 E. 在庫管理 F. その他

③ 薬剤部への評価(現状でよい、改善・その他)  
A. 薬剤師の取り組み B. 情報提供(服薬指導) C. 抗がん剤の勉強 D. 調製業務 E. その他要望・意見

キーワード：薬剤師、がん化学療法、活動評価、看護師へのアンケート

結果(図2-4)

## 緒 言

がん化学療法は医師、看護師だけでなく薬剤師の関与が重要になってきている。

がん化学療法の外来治療への移行化、18年度の診療報酬の改定では外来化学療法加算・無菌製剤加算のアップなど薬剤師に対する活動の後押し、そして世の中の流れがある。

当院では、2004年5月に化学療法委員会が発足し2004年9月より全外来患者、2006年1月より全入院患者に対する抗がん剤の調製が行えるようになった(図1)。

薬剤部では、抗がん剤の調製だけでなく患者をはじめ治療に関わる人の教育も行っている。抗がん剤の知識、薬剤の取り扱い、コスト請求など薬剤部のがん化学療法に対する活動は多岐に渡っていると思う。そこで、まず看護師に対して薬剤部のがん化学療法に対する活動をアンケート調査し、今後の活動に活かしていこうと考えた。

現在の薬剤部の活動とともに看護師へのアンケートの結果を報告する。

95%の看護師は薬剤部が抗がん剤の調製をするようになってよかったと回答。残り5%は看護師が抗がん剤の調製をしていたことを知らない若しくはしたことのない看護師だった。

薬剤師が抗がん剤の調製をするようになってよかったことは、危険性が少なくなった・時間に余裕ができた、が多数を占めたが、情報提供に関しては約2割と低かった。約4割が在庫管理と答えた。

薬剤部への評価は各項目約8割の方が現状でよいと回答された。

## 考 察

看護師へのアンケートの結果から薬剤部への評価が悪くないと感じ取れた。薬剤部では月2回程度の院内抗がん剤勉強会を行っているが、情報提供については想像より低く改善の必要性がある。また、患者への薬剤情報提供は依頼があったときにのみ行っている現状もある。今後看護師への情報提供に加え患者への情報提供にも力を入れていかなければいけない。

## 結 語

がん化学療法は、薬剤部だけの問題でなく病院全体の取り組みが不可欠である。レジメン登録、運用、マニュアルの徹底、情報収集・提供など取り組みなければいけないことが山積みですが、薬剤部もチームの一員として積極的に活動していきたい。

今後も私たち薬剤部では、活動の範囲を広げ患者・看護師などががん治療に携わる方々に不安なく治療に望める環境づくりに寄与していきたいと思っている。

## 対 象 と 方 法

調査：2007年2月

対象：外来・病棟の抗がん剤治療に携わる部署81人の看護師。回収率は100%

調査方法：無記名。選択または記述方式

- ① 薬剤部が抗がん剤の調製を行うようになってよかったか?
- ② 「よかった」方はなにがよかったか?

英文抄録

Original Article

Reevaluation of the duty of the pharmacists for cancer chemotherapy by a questionnaire to nurses

Itoigawa General Hospital, Pharmaceutical department,  
Pharmacist  
Tsuyoshi Yamamoto

Objective and Study design: The role of pharmacists in cancer chemotherapy was reevaluated by a questionnaire to nurses.

Results and Conclusion: Our good and bad points were realized clearly by this external evaluation.

Key Words: pharmacist, cancer chemotherapy, questionnaire to nurses

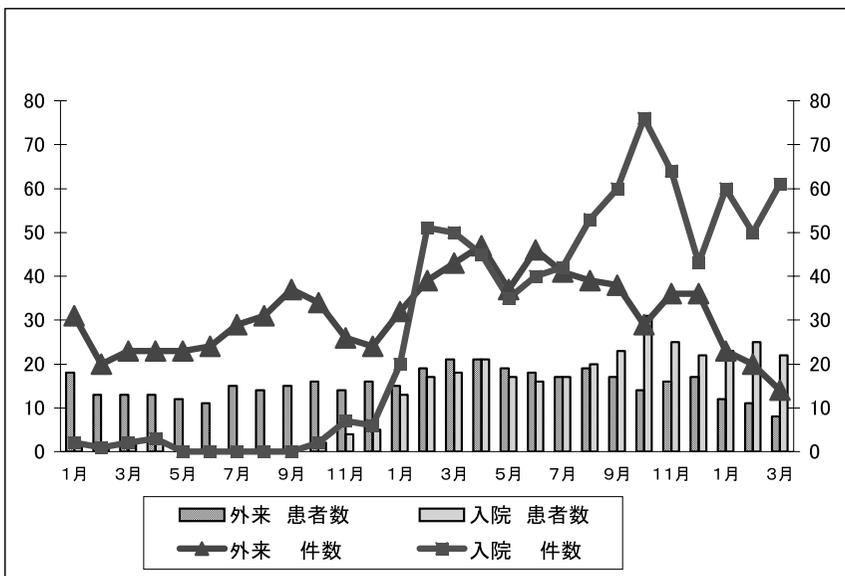


図1. 化学療法薬剤部ミキシング動向2005年1月から2007年3月まで

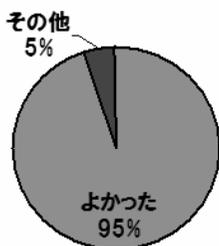


図2. ① 薬剤部が抗がん剤の調製を行うようになってよかったか？

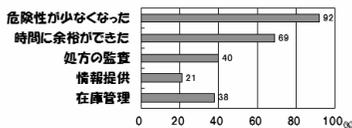


図3. ② ①で「よかった」と回答された方、何がよかったですか？

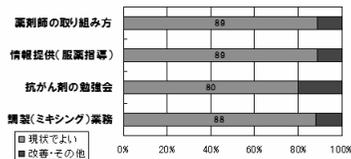


図4. 薬剤部への評価